第94号
埼玉県杉戸町議会
平成29年2月1日発行

杉戸町障がい者週間記念事業
（12月4日カルスタすぎとにて）

こんにちは 杉戸議会です

2016（平成28年） 12月議会

巡回バス、運行の見直し……P２
税条例の改正……P４
町政を問う（１１人が登壇）……P５
所管事務調査・議員研修会……P18
議会を傍聴して・編集後記……P20

巡回バス４月から１日５便に増便

平成28年12月定例会は、平成28年11月29日より12月15日まで開催し、人事案件1件、補正予算4件、条例改正7件についていずれも可決、同意しました。

平成28年度一般会計・水道事業会計・国民健康保険特別会計・介護保健特別会計の各補正予算で、給与改定の影響分、人事異動等による人件費の増減があり、一般会計ではそのほか緊急性、必要性のある事業などが提案され、審議しました。

○全員賛成で可決

一般会計補正予算の主な質疑

巡回バス

4月1日より、見直し後の巡回バス（29年度から31年度）の運行にかかわる債務負担行為が設定されました。

問 巡回バス業務委託契約の予定額は。

答 年間約1500万円程度を予定しています。

問 巡回バスの運行はどう変わるのか。

答 主な改善点は、運行回数を4便から5便に増やします。運行時間は一便増えることで午前8時から午後6時40分まで2時間程度延びます。病院へ行って帰る便がないという問題は解消されます。

問 不都合が生じた場合、3年後をまたずに改善するべきではないか。

答 重大な支障が生じた場合は速やかに対応して行きます。

巡回バスあいあい号

私立「杉戸みちのこ保育園」へ助成

問 民間保育所施設整備補助金追加の内容は。

答 4月に開園予定の「杉戸みちのこ保育園」の整備に係わる補助金が追加され、1億9671万円になります。

問 通園の安全を確保するために、信号機の設置（駅前通り線と町道Ⅱ級1号線の交差点）は進めているのか。

答 道路の改良、歩行者の退避場所の確保の2つの要件がクリアしていないため信号機設置の要望にいたっていない状況です。カラー舗装を設置して事故対策に努めています。

建築中の「杉戸みちのこ保育園」

こども医療費

問 こども医療費を追加する理由は。

答 医療費の9月末までの支給状況から不足が見込まれるため、3970万8千円を追加しました。

問 杉戸町は入院施設がないので負担が大変という声がある。年度内に入院施設の医療費窓口無料化の拡大はできないのか。

答 入院施設を特定して窓口を無料にしている市町はあるようです。個別に窓口無料の契約ができれば、解消できると認識していますので今後検討していきます。

町道Ⅰ級5号線（西地区）

問 町道Ⅰ級5号線道路改良工事の残り200メートルの整備は年度内に完成するのか。

答 年度内完成を目指していますが、平成29年度に繰り越すことも視野に入れています。この整備を行うことで、町道Ⅰ級5号線改良工事は完了します。

問 速度制限はどうなるのか。

答 現状の30キロのまま変更はありません。

町道Ⅰ級5号線

杉戸小学校トイレ改修Ⅱ期工事

問 工事終了は、いつになるのか。

答 できるだけ早期に着工し、夏休みをめどに終了できるようにします。

問 当初に計画したⅠ期工事では国庫補助がつかず、年度途中で追加したⅡ期工事には1533万3千円の国庫補助がついた。その内容は。

答 国の第2次補正予算があり、国の補助が採択されました。

問 杉戸中学校のトイレ改修やエアコンの設置のための補助金申請はできなかったのか。

答 現時点では設計もできていないことから補助金を申請できる段階にいたっていません。補助金の獲得に努力します。

町道Ⅱ級13号線（南地区）

問 舗装補修工事Ⅱ期分の工事を行う経緯と実施時期は。

答 国の交付金を活用した事業で、町の要望通りに交付金が獲得できなかったことから、遅れが生じています。完了は平成30年を見込んでいます。説明会は地元の区長等と相談しながら必要とあらば開催します。

町道Ⅱ級13号線

Ⅰ期分で改修されたトイレ

人事

教育委員会委員
板橋（いたはし）昇（のぼる）氏（再任）

国民健康保険税の限度額引き上げ

地方税の改正に伴い、町では平成29年度より医療分と後期高齢者支援金等分の課税限度額を引き上げます。
多人数世帯などに増税をしているものであり、2年連続の引き上げは認められないといった反対討論がありました。

○賛成11反対3で可決

主な質疑

問 医療分・後期高齢者分の世帯数および額の影響は。

答 医療分は、144世帯、約270万円です。後期高齢者分は、114世帯、約210万円の増収となります。

問 多人数世帯ほど低い所得で増税になると思うが、いかがか。

答 家族5人世帯での収入に換算すると、医療分は改正前1025万円から改正後1062万円となります。後期高齢者分は改正前936万円から1047万円になります。いずれも1千万円を超える年収がある世帯に影響が出るものとなります。

国民健康保険税賦課限度額

区　　分	現　行	改正後
医療分（基礎分）	52万円	54万円
後期高齢者支援金等分	17万円	19万円
介護給付金分	16万円	16万円
合　　計	85万円	89万円

内田保育園を閉園

杉戸町立内田保育園が平成29年3月31日閉園に伴い、条例から削除するものです。
来年の民間保育所の開園状況により、待機児解消の目途がついてから閉園すべきとの反対討論がありました。

○賛成11反対3で可決

主な質疑

問 内田保育園が閉園に至った経緯は。

答 木造園舎の老朽化が問題となっており、公設による建て替えは行わず民間の認可保育所の整備を促進し、当該施設の開園に併せて内田保育園を閉園する政策方針を決定したものです。

問 わかば保育園・内田保育園が閉園となった場合、現在入園している園児は「杉戸みちのこ保育園」「すぎと保育園」に入園できるのか。

答 仮に両園全ての園児を受け入れた場合、3歳児が一人不足となります。3歳児は幼稚園入園の選択肢や他の保育園でも受け入れられることが見込まれます。

問 現在、不承諾児を含む待機児が20人いるが、年度途中の待機児解消は考えていないのか。

答 職員確保が困難なことから、対応が難しい状況です。

内田保育園

杉戸町税条例の改正

地方税法の改正に伴い、個人・法人町民税の延滞金の計算期間の見直しや、軽自動車税のグリーン化適用を1年間延長、スイッチOTC医薬品等の購入を医療費控除の特例対象とするなどの条例改正です。
スイッチOTC医薬品を奨励することは、望ましくないという反対討論がありました。

○賛成11反対3で可決

主な質疑

問 軽自動車税のグリーン化特例について、実績は。

答 平成28年9月現在、754台で軽減税額は278万5200円です。

問 スイッチOTC薬品について医療関係者から、自己判断で市薬品等を購入し、服用すれば副作用や症状悪化のおそれがあると指摘されているが。

答 選択制度となっており、医療が必要な方は今まで通り従来の医療費控除を受けることができますので、影響は少ないと考えます。

軽自動車税のグリーン化特例とはーーー

環境負荷の小さい車両に対して、排出ガス・燃費性能の基準に応じて軽課税率（75%軽減・50%軽減・25%軽減）が適用されます。

スイッチOTC医薬品とはーーーーーーー

薬剤薬局やドラッグストアなどで、処方箋なしで、自分の健康状態に基づいて、薬剤師や登録販売者から適切な情報提供を受け、本人の自己責任・自己判断において購入する薬です。

町政を問う

12月定例会の一般質問は、12月１日、２日、５日に11人の議員が登壇し、安心･安全のまちづくり、学校教育、商業活性化、健康、福祉などについて、町の考えをただしました。

質問項目は下記のとおりですが、その一部の質問と答弁を要約してお知らせします。

なお、他の質問内容を知りたい場合には、町議会ホームページの「会議録の検索と閲覧」をご利用下さい。12月定例会の会議録は、３月上旬に掲載予定です。

○須田恒男議員

1．杉戸宿開宿４００年を終えて
2．遠隔地との防災協定の実現は
3．安心な歩道に
4．学校教育の現状は

○伊藤美佐子議員

1．スマートフォン・パソコンを活用した円滑な道路管理を
2．町における検診受診率向上の対策は
3．デマンド交通に対する取り組みは

○平川忠良議員

1．高齢者の交通安全対策は
2．子どものスマートフォン対策は
3．「日本漢字能力検定」の推進を

○石川敏子議員

1．公共施設の跡地利用は
2．保育園待機児（不承諾児）の解消は
3．災害時における避難行動要支援者への対応は

○森山哲夫議員

1．中学校の入学式前に入学支度金の支給を
2．高野台東１丁目地内の斎場建設

○仁部前崇議員

1．空家対策は
2．新庁舎建設を計画する考えは

○阿部啓子議員

1．総合事業は実態に合わせた実施を
2．介護保険料は引き下げを
3．エコ・スポいずみの温水プールは復活を

○大橋芳久議員

1．公共施設予約システムの運用は
2．巡回バスの見直しと今後の公共交通のあり方は

○都築能男議員

1．杉戸宿開宿４００年記念事業
2．杉戸町の観光は

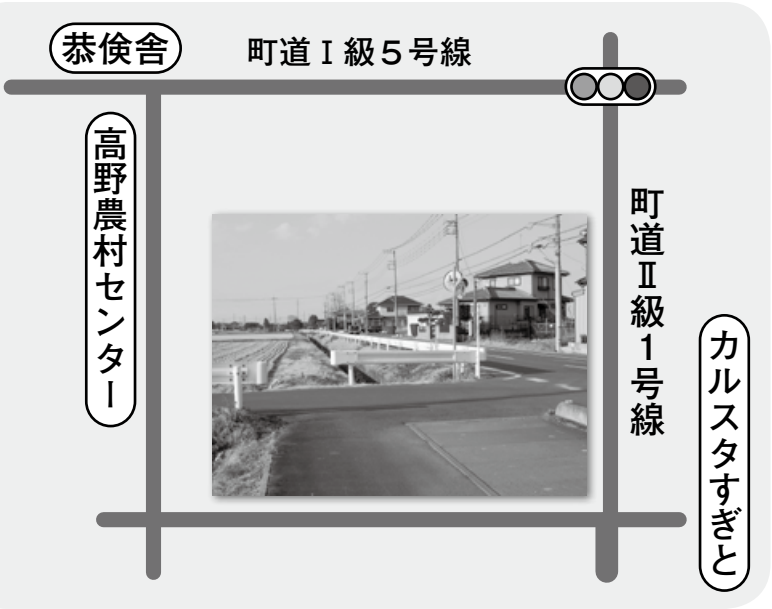
○窪田裕之議員

1．部活動の大会への参加方法
2．掲示板の見直しは

○勝岡敏至議員

1．ふるさと応援寄附金は
2．杉戸町のグルメは

安全な歩道対策を
交付金を活用した整備を検討



須田恒男　議員

問 杉戸高野台駅西口ロータリーの歩道を整備する考えは。

答 **都市施設整備課長** 経年劣化等によりタイルが剝がれ、段差などが発生しています。全面的な改修が必要と認識していますが、多額な費用が見込まれることから直ちに整備は難しいと考えています。

問 障がい者の方から「タイル舗装は大変滑りやすい」との指摘があった。整備時期の検討は。

答 **都市施設整備課長** 時期の明言はできませんが、交付金を適用とした整備を考えています。

学校教育の現状は

問 町道Ⅱ級１号線の通学路に指定されている個所は、平成25年度に水路ふたかけ歩道整備を実施した。残り部分の整備の実施は。

答 **都市施設整備課長** 通行車両が多く、自転車および歩行者の安全対策として歩道の必要性は十分認識しています。交付金の活用を含め財源確保に努めます。

問 安全な道路・通学路確保をめざし、優先的に投資をすべきではないか。

答 **都市施設整備課長** 町道Ⅰ級５号線の接続道路となる部分もあるため、整備効果は高く、優先順位も高いものであると考えています。交付金を活用できるよう検討します。

アプリを活用した円滑な道路管理を

先進事例について調査・研究を行います

スマホを活用し、行政と住民で共有・問題解決を

伊藤美佐子　議員

問 道路の陥没や災害情報の共有など身近な問題にアプリを活用し解決に取り組んでいる自治体があるが、当町でも取り組む考えは。

答 **都市施設整備課長**　道路補修に対する利便性の向上が図られるが、災害情報の共有など様々な課題や費用対効果、メリットやデメリットを整理し、関係課も含め調査研究します。

問 システム導入を検討する部署の考えは。

答 **総務課長**　有用性というのは非常に理解しており、今後研究していきます。

検診対策は

問 乳がん検診で、がんの有無の判別が難しい高濃度乳腺タイプの方に早期発見に向けた「告知」の対応をする考えは。

答 **健康支援課長**　11月の検診から検査結果で高濃度乳腺タイプの方に通知し超音波検査を促す様にします。

デマンド交通の取り組みは

問 杉戸町は移動する手段に車が必要です。そのためにデマンド交通を提案していますが、一向に進みません。そこで町は高齢者に対する巡回バス無料券を配布するなど支援は考えていないのか。

答 **住民参加推進課長**　方向性が決まった段階で、町として、検討する必要が有ると考えます。

高齢者の交通安全対策は

シルバードライバードッグの開催や運転免許の自主返納を推進していきます

平川忠良　議員

シルバーサポーター制度のご案内

問　高齢者による交通事故の実態は。

答　住民参加推進課長　平成26年は54件、平成27年は51件です。平成28年は7月までに23件で、そのうち75歳以上の方の事故は5件、負傷者数は7人です。

問　高齢者の交通事故防止の取り組みは。

答　住民参加推進課長　町・杉戸警察署・春日部自動車教習所とのコラボにより、「毎年」年2回、シルバードライバードッグを開催しています。普通免許を取得している65歳以上の方を対象に、春日部自動車教習所内のコースを利用しながら身体機能および運動機能の変化を自覚していただきます。また12月から5回に分けて町内各公民館で、「高齢者安全運転講習会」をおおむね65歳以上の方を対象に開催します。

問　県では、免許証を返納した方に身分証明となる運転経歴証明書を発行し、提示すれば、様々な特典が受けられる「シルバーサポーター制度」を実施している。当町での特典は。

答　住民参加推進課長　杉戸タクシー並びに太平交通において利用代金10％割引サービスや、埼玉りそな銀行での貸金庫手数料無料サービスがあります。

幼稚園の跡地を子どもの居場所に

財政状況が厳しく当面活用の予定がないため売却します

ここで遊びたいな・・・

石川敏子　議員

問 閉園した中央第二幼稚園は売却、東幼稚園は中央幼稚園の建て替えに伴い仮園舎として活用し、その後売却、南幼稚園については臨時駐車場とする方針ですが、各地域にある幼稚園は住民の要望で建設されてきたものです。地域から子どもの施設が無くなることから、住民の意見を聞くことはしなかったのか。

答 財産管理課長　南幼稚園については高齢者サロン、子育て支援センター、公園など要望書なども出ていますが、地域住民の貴重な意見として受け止め、総合的に判断したところです。

問 住民の意見を聴いて、必要としている施設をつくるべきではないのか。

特に幼稚園は、お母さんたちのコミュニティの場になっていた。子どもの居場所として、児童館などを建設する考えはないのか。

答 政策財政課長　人口減少もあり、財政状況も厳しいことから新たな公共施設をつくるのは難しい状況です。当面活用の予定がないので、売却という結論に至りました。

問 住民の声を聴いたうえで、町の活性化につながり、相乗効果を生み出す活用は考えないのか。

答 町長　杉戸町全体を見ながら考えているので、ご理解ください。

杉戸高野台駅前の斎場建設への対応は

町の開発指導要綱に基づいて指導します

駅前に新築中の斎場

森山哲夫　議員

問　杉戸高野台駅の東口前に鉄骨3階建ての斎場を新築する工事が進められている。周辺住民からは、「再度の説明会を開いてほしい」といった陳情書も出されているが、町としては事業者に対してどのような指導等を行ってきたのか。

答　建築課長　町の開発行為等指導要綱に基づいて指導を行ってきましたが、現状では、「住民側の文書による質問に対して回答をする」という手法がとられています。

問　町の指導要綱では、「事業者は、事前協議申請前に、周辺住民に対して説明会等を開催しなければならない」と定められている。ところが、事業者は住民説明会を開く一週間前に事前協議の申請を行っている。どうして町は、説明会も開催していないのに事前協議の申請書を受理したのか。

答　建築課長　事前協議自体の協力が得られないまま建築確認等の手続きに進んでしまうおそれがあったためです。協議の進展を第一に考えました。

問　このままでは、違法な路上駐車が発生することになるのではないか。

答　都市施設整備課長　適切な駐車場を確保するよう指導していきます。違法な路上駐車に関しても、警察と連携し指導していきます。

「新庁舎建設」を計画する考えは

重要施設として必要性は十分認識している

今年度で 54 年が経過した本庁舎

仁部前崇　議員

問　緊急災害時に拠点となる重要な施設として、「新庁舎建設」を計画する考えは。

答　**財産管理課長**　各庁舎は、耐震性は確保されていますが、今後老朽化が進むことは事実です。特に本庁舎は、一番早く改築の時期を迎えるため、将来的には検討が必要と考えます。

問　現在の庁舎に関する町民アンケートを実施する考えは。

答　**財産管理課長**　検討や計画を進めるに当たって、事前に町民の意見、意向確認の方法として有効と考えます。

問　新庁舎建設に関して、次期第6次総合振興計画に計画する考えは。

答　**政策財政課長**　現在策定を進めている公共施設の総合管理計画の方針、町民の声・ニーズ、公共施設の老朽化対策や他の事務事業の課題等を考慮しながら、新庁舎建設の可能性について研究を進め、次期計画策定に向けての課題の一つと考えます。

問　町長の考え、気持ちは。

答　**町長**　庁舎は災害時に拠点となる重要施設で、新庁舎の必要性は十分認識しています。しかし、他にもやらなくてはならないものが沢山ある中、総合的に勘案し、ある程度早い時期に決断しなくてはと考えます。

健康づくりに効果がある温水プールは復活を

復活は考えていません

エコ・スポいずみの元温水プール

阿部啓子　議員

問 環境センターの温熱はエコ・スポいずみにどのくらい活用されているのか。

答 社会教育課長 エコ・スポいずみはお風呂を沸かす熱源として環境センターの焼却熱を活用しており、同センターが稼働している間はお風呂を沸かす灯油は消費せずに済んでいます。焼却炉が稼働していない週末等には、灯油を消費しますが、外気温によってその量は変化します。

問 プールの利用は6万4千人でしたが、元プールだった施設の利用実績は10分の1に減っている。その理由は。

答 社会教育課長 昨年度の実績は、多目的スペース4986人、ミーティングルーム1050人となりました。その理由として、泉地区の利用ニーズを施設容量が上回っていること、定期的に利用する団体が少ないことが考えられます。

問 杉戸町は体育館もなく、プールも廃止し、近隣と比較し、社会体育施設が少ない。温水プールは利用者が多く、健康づくりに活用できます。温水プールを復活する考えはないか。

答 社会教育課長 温水プールが健康づくりに効果があることは認識していますが、維持管理費の削減を目的に改修を行ったことから、復活させる考えはありません。

今回の見直しのポイントは

予算の確保が難しく小幅な見直しに

文字が小さくて、いつ来るのか分かりにくいです

大橋芳久　議員

問 安全面から車両の更新が必要だとしてきたが、今後も現在のバスが使用される。安全は保障されるのか。

答 住民参加推進課長 点検や整備等を定期的に行うことで安全性は確保できるものと考えている。

問 見積もりが想像以上であることで大幅な見直しができないとされるが、認識が甘かったのではないか。

答 住民参加推進課長 その通りであったと思う。

問 債務負担行為の見積もりは大丈夫なのか。そして、見直しにかかる費用は。

答 住民参加推進課長 見積もりは業者に確認した。関係する費用は、予算の流用で対応したい。

問 デマンド交通導入についての答弁に前進がないが。

答 住民参加推進課長 巡回バスの改善策を考えてきたが、財政的理由によりそれができないことが明確になったのは進展だった。

問 アンケートを取っても分析していない。ならばお金をかけてちゃんとした調査をすべきではないか。

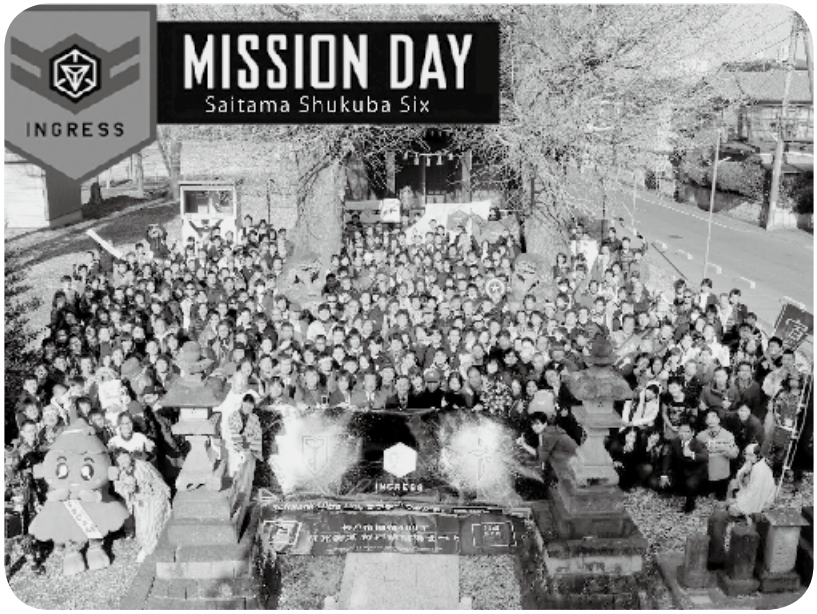
答 住民参加推進課長 アンケートもそれなりに意義があると考えている。

問 バス停の時刻表が小さく、場所もわかりにくい。

答 住民参加推進課長 時刻表はスペースが限られており難しい。名称については前向きに検討したい。

杉戸町の観光資源の活用は

ニーズや意見を聞き、一緒に検討できる機会を設けていく



昨年 12 月 18 日に行われた「イングレス」風景

都築能男　議員

問 平成29年から、幸手市権現堂堤の桜まつりの時期に合わせて、幸手駅に急行が停車するとのことです。東京からアクセスしやすくなることで観光客が増え、賑わいも今以上に盛大になることが予想されます。杉戸町の観光資源の現状と活用は。

答 商工観光課長　今年度は杉戸宿開宿４００年記念事業を通してアピールしてきました。これからも四季を通じて行われているイベントを盛り上げ、県内外の自治体とも連携して、大勢の方に来町してもらえるように努めていきたい。

問 現在検討している新たな事業は。

答 商工観光課長　スマートフォンのゲームアプリである「イングレス」が、日光街道の埼玉六宿を舞台に交流イベントを開催するのに合わせ、町の観光やグルメなどの紹介をしていきたい。イベントに協力することで、若い世代にも杉戸町のＰＲができると考えます。

杉戸宿開宿４００年記念事業

問 全町民を巻き込んだ記念事業だったのか。

答 商工観光課長　産学官民が一体となり、全町民の協力なくしては実施できなかった事業であると考えます。

地域コミュニティ活性化へ掲示板の見直しは

適正な設置・修繕に努めていきます

掲示板・・・見てますか？

窪田裕之　議員

問　掲示板の利用を促進するため、掲示方法の案内や、その地域の掲示板の設置個所等を掲示板に表示できないか。

答　**住民参加推進課長**　町や行政区以外での使用は、情報提供する内容が地域づくりやまちづくりに関わる公共掲示物の内容であれば可能です。

　使用する際の連絡先の明記については個人情報の問題やニーズ等もありますが今後検討していきます。

　掲示板の設置個所の一覧については、住宅案内の掲示板に集会所や一時避難場所の情報とともに、掲示板の位置についても表示できるよう協力していきます。

問　掲示板が固く画鋲が刺さらない箇所がある。板だけでも全ての掲示板を確認して、固い箇所は交換すべきでは。

答　**住民参加推進課長**　掲示板によっては劣化等により板のカバーのはがれや掲示板としての機能がなくなってしまったものも発生しています。

　対策として、順次掲示板の板を既製品の板と交換しますので、問題のある掲示板を発見しましたら町や区長等に連絡していただき、その後職員が状況を確認して交換していきます。

ふるさと納税の寄附金額を増やすには

民間企業との業務委託の開始を準備中

返礼品とグルメいろいろ

勝岡敏至　議員

問　杉戸町のふるさと応援寄付金の状況と現在より多くする考えは。

答　政策財政課長　県内順位63市町村で平成27年度は42万円で57番目です。返礼品は杉戸産特別栽培米、坂斉養鶏場のカステラ、清地村や杉戸宿の清酒等の単品または詰め合せです。

寄付金収入は町の自主財源として、少しでも増加を図る必要があり、返礼品の拡充や、ホームページのバナーのデザインや位置、民間企業のウェブサイトへの掲載など、ふるさと納税のノウハウを持つ民間企業と業務委託の開始の準備を進めています。

杉戸町のグルメについて

問　杉戸宿新グルメとして、テイクアウト品や、日持ちするもの、レトルト食品等を考案しては。

答　商工観光課長　新グルメとして、たまふわシフォンやプリン、杉戸宿おにぎり弁当があり、日持ちするものやレトルト食品等はありません。新たな商品開発を進めていく予定です。

問　新グルメについては観光大使虻川美穂子さんのご主人桝谷周一郎氏、当町出身の松久信幸氏、両氏に大筋での快諾を得ています。新グルメ等依頼しては。

答　商工観光課長　有名シェフのお力をいただけたら効果も高く検討をします。

ご協力ありがとうございました

議会だよりアンケート調査結果

11月１日から12月31日までに、18人（インターネット10人、郵送・FAX・持参８人）のみなさまから回答をいただきました。ご協力いただき、ありがとうございました。

この度のアンケート調査結果を、これからの紙面づくりに活用していきます。

主なご意見・ご要望

議会について

①若い世代が、杉戸町で将来性を感じられる様な議論や質問をして欲しい。

②道幅が狭く、歩道もない危険な状況ですので、行政当局に強く働きかけてもらいたい。

③町民の困りごとに対応し、心豊かな町民生活、細やかな指導力を見せて欲しい。

議会だよりについて

①Q&Aが、より深く、具体的であって欲しい。

②広報すぎとに議会状況を簡素に載せ、議会中継も併せて行う事で良いのでは。

③各議員の資質を知るうえで役立ちます。

「こんにちは杉戸議会です」で関心のある内容を教えてください。（複数可）

① 議案に対する質疑・討論・・・９人（32%）
② 町政に対する一般質問・・・・12人（43%）
③ 議案等の審議結果・・・・・・７人（25%）
④ その他・・・・・・・・・・・０人（0%）

「こんにちは杉戸議会です」の内容は役に立っていますか。

① 役に立っている・・・・・・・６人（33%）
② 役に立つこともある・・・・・８人（44%）
③ あまり役に立たない・・・・・４人（22%）

議会を傍聴したことがありますか。

① ある・・・・・・・・・・・・６人（33%）
② ない・・・・・・・・・・・・12人（67%）

議会のインターネット中継は必要と思いますか。

① 必要・・・・・・・・・・・・３人（17%）
② どちらかといえば必要・・・・８人（44%）
③ どちらかといえば不要・・・・２人（11%）
④ 不要・・・・・・・・・・・・３人（17%）
⑤ 未回答・・・・・・・・・・・２人（11%）

議会のインターネット中継を行えば、ご覧になりますか。

① 見る・・・・・・・・・・・・６人（33%）
② 見ない・・・・・・・・・・・４人（22%）
③ わからない・・・・・・・・・５人（28%）
④ インターネット環境がない・・１人（6%）
⑤ 未回答・・・・・・・・・・・２人（11%）

（小数点以下切り捨て）

地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を求める意見書

国に送付

○全員賛成で可決

地方分権時代を迎えた今日、地方公共団体の自由度が拡大し、自主性及び自立性の高まりが求められる中、住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任が格段に重くなっている。

また、地方議会議員の活動も幅広い分野に及ぶとともに、より積極的な活動が求められている。

しかしながら、昨年実施された統一地方選挙において、町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選が増加するなど、住民の関心低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。

こうした中、地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにすることが、議員を志す新たな人材確保と育成につながると考える。

よって、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

視察　教育厚生常任委員会

タニタカフェについて

新潟県／長岡市

11月7日に長岡市に「タニタカフェ」について視察研修を行いました。

調査の結果、委員会の意見は次のとおりです。

①町役場庁舎内や公共　施設において、町民が気軽に立ち寄り、健康づくりに取り組めるコーナーを設けること。

②各課で行っている健康づくりの施策は「食」「休養」「運動」の観点から、連携した取り組みとして進めること。

ごみの減量、リサイクルの取り組みとサイチョのごみ分別アプリについて

新潟県／新潟市

11月8日に新潟市に「ごみの減量、リサイクルの取り組みとサイチョのごみ分別アプリ」について視察研修を行いました。

調査の結果、委員会の意見は次のとおりです。

①ごみ減量とリサイクルにつながる施策を推進すること。

②ごみカレンダー等やリサイクル推進員制度を充実し、ごみ分別アプリの開発を進めること。

③「ごみ処理事業の概要」を児童生徒、リサイクル推進員、住民向けに作成すること。

議員研修

これからの防災・危機管理について

・派遣件名 平成28年度埼玉県町村議会議員研修会

・派遣期日 平成28年10月20日

・派遣場所 吉見町民会館「フレサよしみ」

・内　容

防災アドバイザーである山村武彦氏を講師に迎え、「これからの防災・危機管理」と題し

1、これからの防災／命を守ることを優先すること

2、平成27年関東・東北豪雨災害が教えてくれたこと

3、最近の大規模地震に学ぶ、実践的防災・危機管理

講演中の 山村武彦 氏

視察　総務建設常任委員会

防災対策について

静岡県／焼津市

11月10日に焼津市に「防災対策」について視察研修を行いました。

調査の結果、委員会の意見は次のとおりです。

①防災知識を持ち、平常時の防災対策や、発災時の応急対策において地域防災の牽引役となる人材を育成するため、町民防災リーダー育成講座の実施について検討すること。

②大規模地震災害の発生を想定し、各地域の実情にあった防災訓練を自主防災組織が自ら計画、訓練、実施することを目指し、取り組むこと。

③ＤＩＧを通じて地域の「災害特性」を把握する訓練や、トリアージに基づく救護訓練、あるいは災害時に力を発揮してくれる有資格者の事前把握など、各地区の自主防災会が多種多様な防災活動等に取り組めるよう、町独自の総合的かつ積極的な援助等を行うこと。

商店街の活性化について

静岡県／富士市

11月11日に富士市に「商店街の活性化」について視察研修を行いました。

調査の結果、委員会の意見は次のとおりです。

①富士市では新たな商店の開店に取り組んでおり、特に優れたアイデアを持つ開店希望者へ、開業資金の援助を行っている。当町でも導入できないか、商工会と連携し検討すること。

②商店街の活性化に向け、行政・商工会・ＮＰＯ・学校等を含めた協議会を立ち上げ、定期的な意見交換の開催を検討すること。

③「日光街道杉戸宿」などの地域資源と空き店舗や古民家等を活用した中長期的な中心市街地活性化計画を策定し、持続性のある商店街の振興事業と「まちおこし」に取り組むこと。

4、自助・近助・共助で、ずっと住みたいまちづくり

5、災害現場のちょっといい話

の5項目に沿って講演がおこなわれた。山村氏は、「悲観的に準備して楽観的に生活することが大切」であり、また「議員の役割は、住民に命を守る訓練を繰り返し働きかけることだ。」と述べていた。

地震はいつ何時起こるかわからない。その時のために、命を守る訓練を繰り返し行い、自主防災組織を確立し、ご近所間の助け合いこそがこれからの防災に繋がるのだと考えさせられる研修会となった。

会場風景

議会を傍聴して

板橋英治さん

私は以前　杉戸町に住んでいたご縁もあり、度々議会を傍聴させていただいております。

一般質問では各議員が身近な小さな要望から大きな案件まで調査をして住民目線の質問をし、それらに対し執行部が財政面をふまえた前向きな答弁をする。どちらも町の発展・住みやすい町づくりをしたいという思いが伝わってきます。一つ感じた事は、答弁は登壇ではなく、自席で行ったほうが時間の効率がいいと感じました。

今後も、町民のニーズに応え、住んでよかったと実感できるような町にしていただきたいと思います。

12月定例会傍聴者数

（本会議）

11月	29日	2人
12月	1日	2人
	2日	3人
	5日	1人
	7日	0人
	15日	0人

（委員会）

12月	8日	総務建設　1人
		教育厚生　1人

3月定例会は、
2月21日（火）
開会予定です。

平成28年 第5回 杉戸町議会定例会　議員別表決結果一覧

議案名＼会派名・議員氏名		自民クラブ(5人)					日本共産党(3人)			公明党(2人)		是新(2人)		自由民主党(1人)	無所属(2人)	
		濵田章一	稲葉光男	都築能男	勝岡敏至	窪田裕之	阿部啓子	森山哲夫	石川敏子	平川忠良	伊藤美佐子	大橋芳久	仁部前崇	宮田利雄	須田恒男	坪田光治
町長提出議案	杉戸町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	杉戸町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	杉戸町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	平成28年度杉戸町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	平成28年度杉戸町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	平成28年度杉戸町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	平成28年度杉戸町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	杉戸町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	－
	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	杉戸町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	－
	杉戸町立保育園の設置及び管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	－
	杉戸町在宅重度心身障害者手当支給条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議員提出議案	地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－

○印…賛成　×印…反対　欠印…欠席　除印…除斥　※議長は表決に参加しないため、「－」となっています。

表紙紹介

障がい者週間（12月3日～9日）とは

国民に広く障がい者福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会・経済・文化、その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的とした週間です。

編集後記

新年を迎え、いかがお過ごしでしょうか。

昨年は「杉戸宿開宿400年」記念事業で大変盛り上がりました。一過性のものにすることなく本年も引き続き住みよい町づくりを目指していきます。

今年も住民目線で読みやすく、わかりやすい編集に努めていきます。

発行・杉戸町議会　編集・議会だより編集委員会　☎〇四八〇(33)一一一一
〒三四五―八五〇二　埼玉県北葛飾郡杉戸町清地二丁目九番二九号